



2日目には杉岡村長や生産者の皆さんも会場を訪れ飯館村をPRしながらイベントに参加しました。

「日本で最も美しい村」連合 県内加盟町村が三島町に集結

村は、6月8日・9日に三島町で開催された『第38回ふるさと会津工人まつり』に参加しました。「日本で最も美しい村」連合の県内加盟町村による取り組みの一環です。全国58町村が加盟する同連合には、福島県内から飯館村と三島町の他に、昭和村と大玉村が加盟しています。村のブースでは、キッチンカーを使って、村産黒毛和牛を使った牛丼を提供。各日100食を完売しました。また、地域おこし協力隊・高橋洋介さん(Cocitto)の焼き菓子なども販売し、飯館村の魅力をPRしました。



上) 会場の河川敷。
左) 水防工法「木流し工」の実地訓練を行う村消防団。

福島県水防訓練 真野川流域の訓練に参加

6月9日、南相馬市鹿島区の真野川河川敷で、県主催の水防訓練が行われ、飯館村も関係市町村と共に参加しました。

この訓練は、水防活動に必要な知識を共有し、また水防作業の実地訓練などを行って、水防体制の充実・強化を図るもの。福島県治水協会や相馬地方広域消防本部などの関連機関も参加しました。

訓練では、さまざまな機関が協力し、人命救助の演習や、水防工法の実地訓練などを実施。非常時における関連機関の連携についても確認しました。



写真は白石集会所で行われた白石行政区の懇談会。ご多用の中で参加いただきありがとうございました。

行政区ごとの住民懇談会を 開催しています

5月12日に長泥行政区、6月16日に宮内行政区・白石行政区・前田行政区の住民懇談会を開催しました。昨年度までは方部別に開いていましたが、今年度は行政区単位の開催とし、それぞれの集会所や交流センター「ふれ愛館」を会場に実施しています。

今後の日程については、村ホームページやお知らせ版7月5日号でご確認ください。村民の皆さんと直接お会いして、情報を共有したり、課題について話し合ったり、ご意見をお聞きたりできる大切な機会と考えています。皆さんお誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

原田徹さんを講師に迎え フラワーアレンジメント教室

5月29日、交流センター「ふれ愛館」で、生涯学習事業『基本からステップアップ フラワーアレンジメント教室』を開催しました。講師は、保原屋生花店(川俣町)に勤務し、アレンジメントの全国大会で上位入賞の経歴を持つ原田徹さん(深谷)。参加者は、バラやアルストロメリアなど8種の花材を使って、ラウンド型のアレンジメントに挑戦しました。原田さんは、切り方や挿し方、整え方などを丁寧に説明し、「バランスがいい」「きれいに仕上がっていますね」と一人ひとりの作品にアドバイス。初心者の方も満足のいく仕上がりに、笑顔を見せていました。



先生に質問したり、参加者同士で話し合ったり、時には無言で集中したり、花と向き合う時間を楽しみました。

皆さんも参加しませんか わくわく農業体験塾

今年度の『わくわく農業体験塾』は、6月1日に交流センター「ふれ愛館」で、第1回実行委員会を開催し、それに続いて畑の作業を開始しました。野菜づくりの先生は、塾長の赤石澤備(すなお)さん(上飯樋)。ベテランの指導をいただきながら、まずはキュウリやトウモロコシ、パプリカなど、さまざまな夏野菜を育てます。また今年度は、JAふくしま未来飯館営農センターが活動に協力する他、移住検討者向けモニターツアー「ミチシル旅」とのコラボも予定されています。皆さんも一緒に活動してみませんか。引き続き塾生を募集しています。



塾長の赤石澤さん(前列中央)に教わりながら、作物ごとに植える場所を決めて、播種や定植を行いました。

杉岡村長が鹿沼市を表敬訪問 支援と交流に感謝を伝える

6月6日、杉岡村長が、栃木県鹿沼市の佐藤信市長を表敬訪問しました。東日本大震災の折、村民と村に避難していた浜通りの方々の緊急避難を受け入れてくださったのが鹿沼市です。避難を希望した500人以上を、市と市民の皆さんが手厚い支援で迎えてくださいました。また、その後も4年間にわたる職員派遣やイベントへの招待など、息の長いご支援をいただきました。当時から市長を務めてきた佐藤市長が4期目の任期満了をもってこの6月に勇退されることから、村の感謝を伝える表敬訪問を行いました。



派遣されていた職員の方々にも同席をいただき、村の様子を報告すると共に、これまでの感謝を伝えました。